

## NEUPERTスピネットのご利用について

当サロンのスピネットはドイツのチェンバロメーカー NEUPERT(ノイペルト)社が 1957 年に製造した、ヴィンテージ・スピネットです。チェンバロ演奏経験のないピアノ演奏者の方にも、本物の音色や鍵盤の感触を実際に体感していただける機会を提供し、それが、ピアノの楽しみをさらに豊かにすることにつながれば、というコンセプトを持って、この楽器を選びました。

ドイツからやってきて、日本の NEUPERT 特約楽器店で大切に展示されていましたが、当サロンに入れるにあたって、チェンバロ修復では日本の第一人者である、池末 隆 氏 に、修復の域をこえた入念な手入れ作業を施していただき、65 年の時を経て、新たな息吹を得ることとなりました。

### 優しい演奏で繊細さを味わって

同じ鍵盤楽器ではありますが、ピアノとは音を出すしくみも構造も異なる「別の種類の楽器」です。鍵盤を押すと、奥では鍵盤が上がり、「プレクトラム (爪)」が弦をはじいて音を鳴らします。繊細な面もありますので、ていねいな演奏を心がけていただくようお願いいたします。

- ・上から叩くような強い打鍵は不向きです。指を置く感じで優しく弾いてください。
- ・多くの音を同時に鳴らすことは苦手です。和音はアルペジオにするなど工夫してみてください。
- ・鍵盤の長さが短く、支点（シーソーの真ん中）が鍵盤の見えている部分のすぐ奥にあります。そのため、見えている鍵盤の奥の方を押しても音が出ない場合があります。鍵盤の先端に近いところを押すように、手指の位置を工夫してみてください。

### 音域の限られた小さな楽器です

当サロンのスピネットの音域は 4 オクターブ半 (C2 - F6)、54 鍵です。一般的によく演奏されるバロックの曲で、高音部がはみ出す曲はあまりありません。低音部では、曲によっては、曲終わりの和音などについて、はみ出す場合があります。演奏時に、曲に応じて、省略したり、1 オクターブ上の音を弾くなどの対応をしてみてください。

< J.S.バッハの例 >

※学習者の方が取り組まれる小曲についてはほとんど演奏可能です。

- ・初心者のための 6 つの小プレリュード
  - ・インヴェンション
  - ・シンフォニア
- いずれも、ホ長調の曲で低音部が 1 音だけはみ出します。他の曲は音域に収まります。

※フランス組曲 第 6 組曲のブーレが 1 音だけはみ出します。その他は収まります。

※イギリス組曲 第 1 組曲に数音はみ出す曲があります。その他は収まります。

※平均律クラヴィーア曲集 第 1 巻・第 2 巻とも音域が足りないのは 4 曲ずつです。

### 一般の演奏者向きに工夫して作られた楽器です

- ・ピッチはピアノ演奏者の方に違和感の少ない 440Hz です。ピッチの変更はいたしかねます。
- ・調弦は当サロンで行います。一般の利用者の方が調弦を行うことはお断りしています。

当サロンのスピネットは、全体の構造はヒストリカルな仕様です。一方「ジャック」という、爪を上下させるメカニクな部分だけ、ノイペルト社が開発したモダン仕様のもので使っています。繊細なジャックの手入れに悩まされずに、一般家庭でピアノ演奏者が気軽に使えるチェンバロを、という、ノイペルト社の願いから作られた、いわば「ハイブリッド」なスピネットなのです。ピアノで練習したこの曲をチェンバロで弾いてみたい、そんな願いをかなえるための楽器です。